

- 考え方**
- ・全数届出の見直しに対応した療養者の支援など、新たな取組の推進
 - ・感染レベルの一層の引下げと医療への負荷の低減
 - ・全国旅行支援の実施や水際対策の緩和による滞在者の増加を見越した対応

道

自宅療養者への支援と保健・医療提供体制の強化

- 陽性者健康サポートセンター等の機能発揮に向けた利用の普及と自宅療養者へのサポート強化
- 重症化リスクのある方を適切に医療に繋げるための地域の対応力強化
- 滞在者増加に対応した関係団体との連携による情報発信

ワクチン接種体制の整備

- ワクチン接種センターの設置期間を延長し、ノババックスワクチンとオミクロン株対応ワクチン接種を実施

道民の皆様へ

基本的な感染防止行動(3つの行動)の実践とワクチンの接種

- | | |
|------|--|
| 日常生活 | ○三密回避、人との距離確保、手指消毒、マスク着用、換気を徹底
○高齢者や基礎疾患のある方、そうした方々と会う方
双方が基本的な感染防止行動を徹底 |
| 飲食 | ○短時間、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用 |
| 検査 | ○無症状で感染に不安を感じる時は、
ワクチン接種の有無にかかわらず検査
○有症状で重症化リスクが高く、診察を希望する場合は、
かかりつけ医または健康相談センターに連絡
○有症状で重症化リスクが低く、自己検査を希望する場合は、
陽性者登録センターに連絡 |

- | | |
|------|-------------------------------|
| ワクチン | ○接種できる時期が来た際、早期のワクチン接種を積極的に検討 |
|------|-------------------------------|

事業者の皆様へ

感染対策の徹底と社会経済活動の両立

- 事業継続計画(BCP)の策定、点検
- 道の事業展開を通じた事業者と利用者双方による感染拡大防止の取組の普及・定着
- 滞在者の増加に対応した観光事業者等による新たな取組の周知